静岡市

報道資料

（2026年11月12日発表）

11月19日　再生可能エネルギーと交換式バッテリーを活用した

実証設備現地説明会の開催

11 月 19 日(木)に、京セラコミュニケーションシステム(株)及び静岡ガス(株)と共同で、再生可能エネルギーと交換式バッテリーを活用した実証設備の現地説明会を開催します。

【趣旨・背景】

・静岡市は「第 3 次静岡市地球温暖化対策実行計画」に基づき、脱炭素先行地域を中心として、太陽光発電、蓄電池、水素、地域マイクログリッド、PPA※などを活用したエネルギーの地産地消を進めています。※PPA：事業者が太陽光発電設備を設置・所有し、その設備で発電した電気を利用者が購入する仕組み。

・今回新たに、京セラコミュニケーションシステム(株)及び静岡ガス(株)と共同で、交換式バッテリーを活用する共同実証設備を整備しました。この設備では、再生可能エネルギーで充電した交換式バッテリーを EV や電動バイクで利用するほか、モビリティ用としての役割を終えたバッテリーを定置用蓄電池として活用します。

【現地説明会の日時・会場】

2026年 11月 19日(木)　13時30分～14時30分(雨天決行)
静岡市城東保健福祉エリア　駐車場(静岡市葵区城東町24番1号)

【内容】

1. 実証設備の公開
2. 設備の概要説明及び実演
3. 写真・映像撮影
4. 取材対応

【取材申込】

事前連絡は不要です。当日、会場までお越しください。

【問い合わせ先】

環境局 GX 推進課(静岡庁舎 13階)、担当：廣田・西角　電話：054-221-1611
メールアドレス：kankyousouzou@city.shizuoka.lg.jp

交換式バッテリーを活用した共同実証を開始しました。

～モビリティから蓄電池へ　地域で循環するエネルギーモデルを検証～

１　要　旨

静岡市は、京セラコミュニケーションシステム株式会社及び静岡ガス株式会社と共同で、交換式バッテリーを活用した実証を開始しました。

本実証では、交換式バッテリーを EV や電動バイクなどのモビリティで利用しつつ、モビリティ用途で役割を終えたバッテリーを、定置用蓄電池として再利用します。

バッテリーを長く有効に活用することで、脱炭素、資源循環及び地域防災につながる持続可能なエネルギー循環モデルの可能性を検証します。

２　本実証の３つのポイント

ポイント１　モビリティで利用

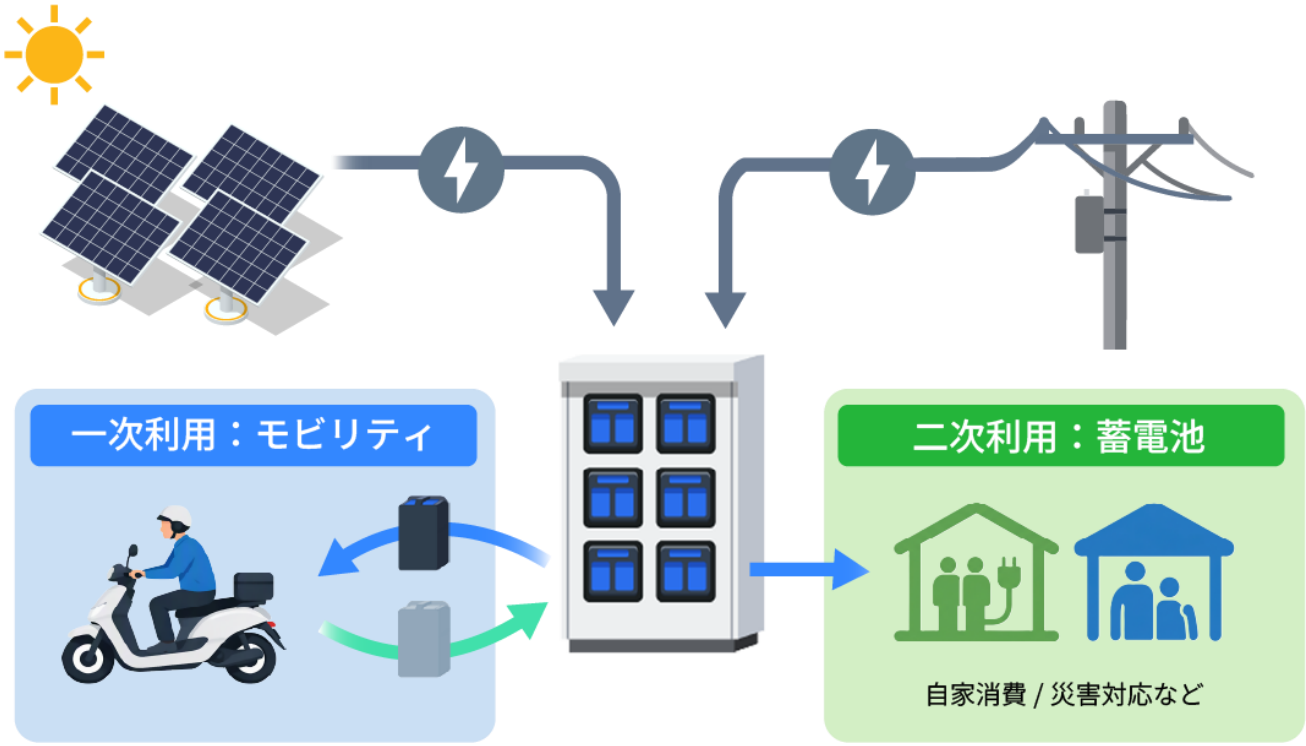
再生可能エネルギー等で充電した交換式バッテリーを、EV や電動バイクで利用します。

ポイント２　蓄電池としての再利用

モビリティ用途での役割を終えたバッテリーを、定置用蓄電池として再利用します。

ポイント３　災害時にも活用

蓄電した電力を、停電時の非常用電源として活用できるかを検証します。



＜エネルギー循環モデルのイメージ＞

次頁あり

３　実証期間・設置場所

実証期間：２０２６年１１月１０日（火）から１２月下旬まで
設置場所：静岡市内の３か所

蓄電システム	蓄電システム	充電ステーション
城東保健福祉エリア 葵区城東町 24-1	江崎新聞店 本通支店 葵区本通西町 21-1	恩田原公園駐車場 駿河区恩田原 27-1
		

４　主な検証内容

検証項目	確認する内容
モビリティ利用	バッテリー交換の利便性、利用状況、交換作業に要する時間、運用上の課題
蓄電池としての再利用	電力供給、運用方法、安全性、エネルギー利用上の効果
災害時利用	非常用電源として使用できる機器や供給可能時間
運用モデル	地域内で循環するための課題や継続的な事業としての成立可能性

５　３者の役割

主体	主な役割
静岡市	・充電ステーション、蓄電システムのフィールド提供 ・EV・電動バイクの利用に関する調整、実証ユーザーとして参加
KCCS	・実証実験の企画立案・設計施工 ・充電ステーション、蓄電システムの開発・設置・運用 ・交換式バッテリーのデータ取得・管理 ・充電ステーション、蓄電システムに関するビジネスモデルの検討
静岡ガス株式会社	・充電ステーション、蓄電システムのフィールド提供 ・EV・電動バイクの利用に関する調整、実証ユーザーとして参加 ・充電ステーション、蓄電システムに関するビジネスモデルの検討

次頁あり

６　静岡市が期待する効果

①脱炭素

太陽光発電等の再生可能エネルギーと交換式バッテリーを組み合わせ、モビリティと建物の双方で電力を有効に活用することで、二酸化炭素の排出量削減につなげます。

②資源循環

モビリティ用途での役割を終えた交換式バッテリーを定置用蓄電池として再利用し、バッテリーを1つの用途だけで終わらせずに、長く有効に活用します。

③地域防災

定置用蓄電池に蓄えた電力を、災害による停電時の非常用電源として活用できるかを検証し、地域の防災力向上につなげます。

④電動モビリティの利用促進

バッテリーを交換することで充電時間を待たずに利用できる仕組みの利便性を検証し、EV や電動バイクなどの電動モビリティの利用拡大につなげます。

７　今後の展望

本実証では、交換式バッテリーの利用状況、設備の運用状況、エネルギー利用に関するデータなどを収集し、技術面及び運用面の課題を整理します。

実証によって得られた成果を踏まえ、モビリティ、公共施設、民間施設及び災害時の電源確保など、静岡市内における具体的な活用方法を検討します。

また、官民が連携し、地域内でエネルギーと資源を有効に活用する、持続可能なエネルギー循環モデルの構築を目指します。

８　実証設備の現地公開

日　　時：2026年11月19日（木）13：30～14：30
会　　場：静岡市城東保健福祉エリア　駐車場（静岡市葵区城東町24番1号）
実証内容：実証設備の公開、設備の概要説明及び実演、写真・映像撮影、取材対応
※ 2026年11月10日（火）報道資料提供済み

【事業の位置付け】

経済産業省「蓄電池等の製品の持続可能性向上に向けた基盤整備・実証事業」の採択事業及び3者が締結した「交換式バッテリーを利用した実証実験に関する連携協定」に基づき実施します。

担当：ＧＸ推進課（054-221-1611）